

ワケ カタチには理由がある(??)

～ランチア 3RO 自走砲(Autocannone)



本車両は、大型のトラック、ランチア 3RO に対戦車砲を搭載した、第二次世界大戦で使用されたイタリアの自走砲です。砲を載せた折り畳み式の基台は、広げると円盤状の作業スペースになるように工夫されており、砲兵がどの方向にも砲を取り回せるようにデザインされていました。対戦車砲はドイツの 88 mm Flak36 砲で、イタリアが当時ドイツに対して有していた債権を使って 50 砲を獲得したものでした。照準器はカールツァイス製と英文 wiki では特記されているので、ドイツ軍の純正 88 mm の照準器と違うようです(確かに形状が違います)。当然のことながら、防盾以外、装甲はないですから、待ち伏せなどで使用する以外になく、通用したのは連合軍に重戦車が現れる前、アフリカ戦線あたりまでではなかったかと思います。

【模型について】

イタリアのイタレリ(Italeri)製 1/72 のインジェクションキットです。ゲームの駒用のキットで、フィギュアがたくさん付属しますが、車両自体のパーツは実にシンプルです。砲がソフビパーツで、多少モールドがだるくプライマーを施さないと塗装できないのが難点ですが、必要十分な雰囲気モールドです。砲を載せる基台は、左の写真の通り展開状態で一体成型されているので、カッターで分解し、再構成しています。(中川裕幸 2021年4月)

